



# 日本洋書協会

JAPAN ASSOCIATION OF INTERNATIONAL PUBLICATIONS

FEBRUARY 2019  
REPORT MAGAZINE

会報誌 | vol. 53 no. 2

Published by JAIP 1-13-4F, Kanda-Jimbocho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0051

e-mail:office@jaip.jp

## 新年賀詞交歓会

倉上 雄一 (タトル出版)

文化厚生委員のタトル出版(株)倉上です。宜しくお願い申し上げます。

今年の新年賀詞交歓会は1月11日(金)に国際文化会館本館宴会場(港区六本木)にて会員27社53名の方々にご参加頂き盛大に行われました。文化厚生委員のメンバーにとって年始最初の担当イベントです。開催一時間前に現地入りし準備をはじめました。準備中の会話では、お手伝いしていただいたユサコ(株)の旭氏がボルダリングをしている話からはじまり、ダイエット、健康など、昨年と同じ話題でした。正田事務局長がおっしゃった「睡眠には体力が必要」が一番印象に残りました。寝ることにも体力が必要であり、加齢、体力の低下で睡眠の質量ともに低下するようです。年始は誰もが健康でありたいと願うのかもかもしれません。

午後6時過ぎより、理事長である(株)MHMのマーク・グレシャム氏の開会の挨拶がありました。グレシャム氏は、ある偶然の出会いから大学に入ることになり、その大学で日本に興味を持ち、ほんの1年のつもりで英語教師として日本にやってきたこと、そしてその後も様々な人との「出会い」があって今ここにいることを話してくださいました。JAIPもさまざまな人が「出会う」場でありつづけてほしい、と祈念して、乾杯となりました。

年始という事もあり、各テーブルでは新年の挨拶やいろいろなお話で、賑やかな雰囲気の中は進みました。たくさんの美味しい料理と多種にわたるドリンクが用意されるなか、皆さん最後まで食事をしながらアルコールもすすみ、会話も弾んでおりました。中締めのご挨拶は理事の細谷氏(ビューローホソヤ)よりいただき、ワタナベ流通の渡辺氏の一本締めで8時過ぎに閉会となりました。

賀詞交歓会は経営層や管理職の方々の出席が多いですが、近年若い方々の参加が増えているようです。サマーパーティー同様、色々な世代の方々と交流がもてる良い機会になったようです。私はオックスフォード大学出版局の方々とパーティー中に話が盛り上がりました。タトル出版はブック

ス・オン・ジャパン書籍が中核ですが、オックスフォード大学出版局さんも、同ジャンルのタイトルを多く揃えてられるので、今年は合同でなにかできないか話し合いました。懇談中の商談のような不思議な感覚を覚えました。同業種異ジャンルのコラボレーションが実現しそうな予感がしました。また出版営業の課題について意見交換をしました。なかでも洋書の出版営業ならではの、「壁」すなわち、書店員の方々から自社出版物への理解が得られない場合の対処法について話し合いました。

私がこの業界に入りたての頃、タトル出版は洋書協会に未加入でしたので、当時加入していればこのような意見交換ができたのになあ、と少々残念に思いました。

近年外国人観光客は年々増加し、昨年はずいぶん年間3,000万人まで達しました。また今年はラグビーワールドカップ、来年は東京オリンピック開催と世界中が注目するビッグイベントが控えています。外国から日本への注目が集まっている時期ですので、これをきっかけとして、洋書業界にスポットが当たることを願っております。



## 役員選挙結果発表

役員選挙の開票が2月15日（金）にMHM会議室で行われ、以下の通りとなった。

(株)極東書店が理事、監事の両方に当選したが、監事を選択したのでセンゲージラーニング(株)が繰り上げ当選で理事となった。

開票結果（カッコ内は会員代表者）

### 【理事】（4名）

当選	(株)MHM（マーク・グレシヤム）	21票
	丸善雄松堂(株)（河村 収）	18票
	(株)極東書店（富田 覚）	13票
	ユサコ(株)（山川 真一）	12票
次点	センゲージラーニング(株)	8票

### 【監事】（2名）

当選	(株)南江堂（青柳 三樹男）	7票
	(株)極東書店（富田 覚）	7票
次点	(株)東亜ブック	6票

投票率は73%でした。

選挙管理委員会（敬称略）

委員長：長谷 整 [ワイリー・ジャパン(株)]

委員：

石田さやか [トムソン・ロイター(株)]  
 石橋 正久 [センゲージラーニング(株)]  
 池田 雅俊 [(株)社三省堂書店]  
 上島 和彦 [(株)教文館]  
 海老根紳二 [ワイリー・ジャパン(株)]

事務局：正田 実

## 海外ニュース

### 今読むべき日本文学・日本関係の本 10冊

2018年は日本が開国してから150年の節目にあたる。薩長藩などの討幕派によって年若い天皇が担ぎ出され、「東京」と名づけられた都市で名目上の頭首となり、その下で日本は近代国家へと変貌を遂げていく。欧米の列強が武力をちらつかせながら日本に開国を迫るなか、それらの植民地とならずに生き残っていくためには、早急な近代化が何より必要だった。

いまだに国よりも藩のことが考えられない国民に、協力して国を盛り立ててもらうには、どうすればいいのか？税金を納めさせ、軍に入隊させ、子供を国民学校に通わせればいいのか？物語を聞かせるのはどうだろう。特別な、神に祝福された国としての日本の物語を。いつの日かアジアの近代国家の模範となるような国の物語を。

私は自著Japan Storyで、この動乱の150年のあいだ、近代日本を形成し、そのイメージを広めるためのこれら二つの物語に非常に大きな影響を与えた作品を探し求めた。と同時に、近代日本を知る人々が日本について語る、もう一つの魅力的な話も紹介したい。

ここにあげる10冊は、この豊かで複雑、そして常に魅力的な国の一端を紹介するものである。

- 1 *Legends of Tōno* by Kunio Yanagita
- 2 *Kokoro* by Natsume Sōseki
- 3 *Rashōmon and Seventeen Other Stories* by Ryūnosuke Akutagawa
- 4 *The Tale of Genji* by Murasaki Shikibu
- 5 *Kyoto: A Cultural and Literary History* by John Dougill
- 6 *Shogun* by James Clavell & *The Shogun's Queen* by Lesley Downer
- 7 *Embracing Defeat* by John Dower
- 8 *A Tokyo Romance* by Ian Buruma
- 9 *Dogs and Demons: The Fall of Modern Japan* by Alex Kerr
- 10 *Strange Weather in Tokyo* by Hiromi Kawakami

ライター：Christopher Harding  
 (The Guardian Online, Nov. 21, 2018より抄訳)  
 (情報提供：MHM 遠藤尚子)

# わたしの職場

リレー連載 ● 第6回

Taylor & Francis Group  
マーケティング担当

熊澤あや乃

## — Taylor & Francis Groupの仕事紹介 —

Taylor & Francis Group マーケティング担当の熊澤です。昨年1月に入社し、入社2年目という新人ですが、お声がけ頂き、今回担当させていただきます。

弊社はイギリスに本社を持つ学術出版社です。現在本社を置くイギリスを始め、アメリカ、オーストラリア、シンガポール、日本、台湾、韓国、中国など世界各国にオフィスを構えています。日本オフィスは、2007年に設立し、現在9名が在籍しています。ジャーナルセールス、eBookセールス、ジャーナル編集部、マーケティングの各部署、報告先は様々です。

例えば私の場合ですと、直属の上司はAsia-Pacific拠点であるシンガポールオフィスに在籍しています。その為、シンガポールオフィスとのやり取りが業務の大半を占めています。日常的なメールのやり取りに加え、上司とは隔週でビデオ会議、マーケティングチーム全体のビデオ会議も月一回設けられています。私の上司は入社時にシンガポールから1週間ほど、トレーニングを兼ねて来日してくれたため、会ったことはありましたが、毎日やり取りをする他のシンガポールオフィスの面々とは、入社して数か月後のシンガポール出張まで直接会ったことがなく、ビデオ会議で映り込んだ姿を見る程度でした。今まで働いた会社で、海外の同僚とやり取りすることはありましたが、ここまでほぼ顔の分からない相手と密にやり取りをすることはなかったので、慣れるまでは戸惑うことや上手くコミュニケーションが取れずに悩むことも多々ありました。特に“Singlish”に慣れるまでは聞きなれないアクセントに戸惑い、「今なんて？」と聞き返すことも多かったです。

そして、海外とのやり取りでは「あるある」とは思いますが、やはり文化の違いがある為、最初は上手くいかないことがあり、とまどいを感じることも多々ありました。特に昨年3月の展示会シーズンの時には展示会担当と毎日メールやインスタントメッセージでやり取りをしていましたが、思うように準備が進まず、「なんで伝わらないのか、私の伝え方が悪いのか」と悩みました。例えば、展示会準備の段階で主催者から「荷物は●月●日XX時～XX時の間必着」と指定が来たら、その日時指定で送らなければいけないのに、シンガポールの担当者は「荷物が当日までに届けばいい」という捉え方（海外の展示会はそのような感じなのかもしれませんが）で、「（海外から日本に来る書籍やジャーナルを）早く送って

ほしい」と催促してもなかなか荷物が発送されないということは日常茶飯事でした。しかしある展示会で当日になっても海外から荷物が届かず、展示会1日目に展示がほぼできなかったという失敗から、「前もって荷物は日本オフィス宛に展示会の1週間前に送り、日本で中身を確認し、そこから主催者指定の日時指定で国内発送」というルールが出来ました。このルールのおかげで、今ではスムーズに展示会の準備をすることができています。日本オフィスにマーケティング担当者が入社したのは私が初めてだったため、昨年はこの様に「ここはこうした方が効率がいい」や「日本ではこういうやり方で」など、今まで出来ていなかったローカライズが少しずつ出来た1年だったのではないかと思います。入社2年目、まだまだ会社の為にやりたいこと、やらなければならないことがたくさんありますので、優しく手を差し伸べてくれる周りの人の手を借りながら一つずつ業務をこなし、今年は少しでも「成長したな」と思ってもらえるよう邁進してまいります。

最後に、弊社のユニークなイベントについてご紹介させていただきます。それは、“Monthly outing”といって、チーム全員で月に一度出かけるというものです。前述の通り、各部署各々に仕事をしているので、中々「日本オフィスチーム全員で何かをする」ということがない私たちにとって、月に1回ゆっくりと話をすることが出来る機会です。昨年はお花見クルーズに出かけたり、美味しい鰻や鉄板焼きを食べに行ったりしました。私の入社前はラフティングをしたり、相撲や落語を観に行ったりすることがあったようです。毎月担当者が変わるので、毎月何をするのか、何を食べに行くのかと楽しみにしています。

今回、この執筆のお話を頂き、2018年を振り返りながら書かせていただきました。24時間に渡る移動時間によって体調不良になり、意識朦朧の中乗り越えたイギリス出張の話や、シンガポール出張であまりにも食事がおいしすぎて1週間で4kg増えて帰ってきた話などまだまだ「ネタ」はありますが、それはまたの機会にお話させていただきます。今年は、日本洋書協会様のイベントにも積極的に顔を出させていただきたいと思っておりますので、その時は何卒よろしくお願ひ申し上げます。この度は貴重な執筆の機会を頂き、ありがとうございました。

解説 源氏物語：「源氏物語画帖」とともに

## The Tale of Genji: A Visual Companion

McCormick, Melissa

(Princeton U.P.)

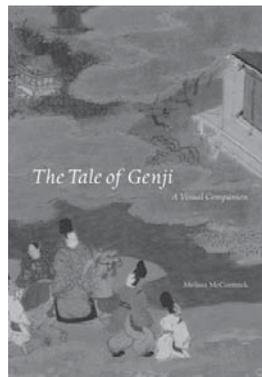
2018:11 288 p. 224 color illus. Hardback 9780691172682 本体価格 ¥5,940

ハーバード美術館所蔵の「源氏物語画帖」（土佐光信・作 1510年）の美しい絵と詞書を豊富に掲載

Written in the eleventh century by the Japanese noblewoman Murasaki Shikibu, *The Tale of Genji* is a masterpiece of prose and poetry that is widely considered the world's first novel. Melissa McCormick provides a unique companion to Murasaki's tale that combines discussions of all fifty-four of its chapters with paintings and calligraphy from the *Genji Album* (1510) in the Harvard Art Museums, the oldest dated set of *Genji* illustrations known to exist.

In this book, the album's colorful painting and calligraphy leaves are fully reproduced for the first time, followed by McCormick's insightful essays that analyze the *Genji* story and the album's unique combinations of word and image. This stunning compendium also includes English translations and Japanese transcriptions of the album's calligraphy, enabling a holistic experience of the work for readers today. In an introduction to the volume, McCormick tells the fascinating stories of the individuals who created the *Genji Album* in the sixteenth century, from the famous court painter who executed the paintings and the aristocrats who brushed the calligraphy to the work's warrior patrons and the poet-scholars who acted as their intermediaries.

Beautifully illustrated, this book serves as an invaluable guide for readers interested in *The Tale of Genji*, Japanese literature, and the captivating visual world of Japan's most celebrated work of fiction.



源氏物語：描かれた古典

## The Tale of Genji: A Japanese Classic Illuminated

Carpenter, John & McCormick, Melissa

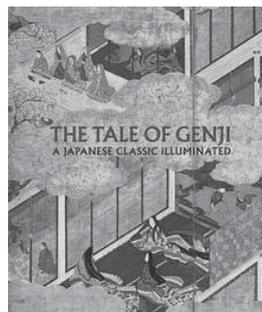
(Metropolitan Museum of Art)

2019:03 368 p. 304 color illus. Hardback 9781588396655 US\$65.00

「源氏物語」を題材にした絵画や工芸品、現代の漫画まで、さまざまな作品を紹介

With its vivid descriptions of imperial society, gardens, and architecture in early 11th-century Japan, *The Tale of Genji*—recognized as the world's first psychological novel—has captivated audiences around the globe and inspired artistic traditions for 1,000 years. This handsomely designed and illustrated book explores the outstanding art associated with *Genji* through in-depth essays and discussions of nearly 120 works.

*The Tale of Genji* has influenced all forms of Japanese artistic expression, from intimately scaled albums and fans to boldly designed hanging scrolls and screen paintings by the most esteemed artists and calligraphers of every school and era. Scenes from the tale adorn decorative objects used in everyday life, including robes, lacquer boxes, containers for grooming tools and writing implements, incense burners, and even palanquins for transporting young brides to their new homes. The authors, both art historians and *Genji* scholars, discuss the tale's transmission and reception over the centuries; illuminate its place within the history of Japanese literature and calligraphy; highlight its key episodes and characters; and explore its wide-ranging influence on Japanese culture, design, and aesthetics into the modern era.



\* 価格は為替相場の変動や版元の価格改定などにより変わる場合がございます。



1-1-13-4F Kanda Jimbocho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0051

Tel: 03-3518-9181 Fax: 03-3518-9523

日本洋書協会会報 vol.53 No.2(通算557号) 発行日2019年2月1日 編集者 遠藤 尚子

発行所 日本洋書協会 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-13 (株)MHM内 TEL 03-3518-9631 FAX 03-3518-9523  
URL: <http://www.jaip.jp> E-mail: [office@jaip.jp](mailto:office@jaip.jp)